

かごしまブランド

県内各地から

KAGOSHIMA BRAND

種子島の

レザリーリーフファン

実はすごい実力の持ち主です。日本一の花の演出家。



種子島の (中種子町 南種子町) 景



雄龍・雌龍（おたつ・めたつ）の岩／ある嵐の夜、崖崩れにあって海に投げ出された夫婦の生まれ変わりであるという言い伝えのある岩で、左が雌龍岩（角2本）、右が雄龍岩（角1本）です。国道58号沿いにあり、種子島の海を背景にたたずむ美しい景色は、季節や時間によってさまざまな表情を見せてくれます。



種子島宇宙センター／青い海と白い砂に囲まれた竹崎地区に、日本唯一の実用衛星打ち上げ施設種子島宇宙センターがあります。白くそびえ立つ発射台、宇宙科学技術館、広い芝生の憩いの広場、カーモリの峯に登れば宇宙から地球を眺めているような360度のパノラマとなります。



門倉岬／門倉岬に通じる直線700mの道路は、まるで前方に広がる海中に突き進んで行くような爽快感を感じる道路、名付けて海中ロードといます。そこを経て門倉岬に入れば、日本の歴史を変えた鉄砲伝来の地があります。

レザリーーフファンという名前を知っているだろうか？
鹿兒島市から15キロメートルの洋上に位置し、豊かな自然に囲まれ、鉄砲伝来の地・ロケット基地の島として知られる種子島。この種子島の中種子・南種子町で主に栽培され、国内最大の栽培面積・出荷量を誇るのがフラワージェンメントなどの花材として人気のシダ植物 レザリーーフファン。なめし皮のような葉の光沢や、扇の形をファンということからこの名前が付いた。非常にデリケートな植物で、温度条件が20度前後であり、酸性土壌を好むなど、まさに種子島の条件に適している品目。海外産など他産地のもの比べて、緑の葉が美しく、弾力性に富み、日持ちも良いため、国産の上級品として高く評価されている。平成19年度実績では、118戸の生

産者が14.4ヘクタールを栽培し、販売量は777万枚。関東・関西・九州方面を中心に出荷され、平成18年6月7日には花きで唯一のかごしまブランド産地に指定されている。
南種子町にある栽培農家 田上末たのうえすゑ 廣ひろさんのビニールハウスでは、淡い緑や濃い緑のレザリーーフファンが生き生きと輝いていた。「今のところ台風の影響もなく、形やつやも良好ですよ」と笑顔の田上さん。
「一年中、収穫が可能で、芽が出て3カ月ほどで大きくなるため、出荷作業と並行して、葉が曲がらないように不要な葉の切り取りも行います。品質のよいものを作るためには、小まめな管理が必要なんです」と額に汗をにじませる。

1本1本気持ちを込めて手作業で管理や収穫を行うなかで、全体の3割程度が商品として届けられる。
「かごしまブランド産地に指定されたことで、市場の信用・知名度がでてきたと思います。品質のよいものを出荷しなくてはという、生産意欲も高まりました。さらに小まめな管理を行い、品質の向上を徹底しながら、収穫を増やしていきたいです。四季折々の行事の中で、フラワージェンメントなどの花々と共に生活の中にもっと取り入れていただけたら嬉しいですね」と笑顔で今後の抱負を語る。
フラワージェンメント、花束の添え葉に使われることが多く、贈り物や結婚式・葬祭などで花の引き立て役として大活躍のレザリーーフファン。つややかで丈夫な葉は、存在感十分で花1輪と合わせるだけでも、華やかな雰囲気演出する。隠れた名脇役にもぜひ注目を。

●問い合わせ先
中種子町 総務課 0997(27)1111
南種子町 企画課 0997(26)1111